

令和7年度 鳥取県立博物館の組織体制

令和7年4月1日

- (1) 学芸課の担当名を改正した。
 (2) 県立美術館の開館（令和7年3月30）に伴い、美術振興課の廃止など組織体制が整理された。

1 博物館全体

() 組織定数 【 】 併任

令和6年度	令和7年度
博物館長 (1) ※次長級 <u>理事監【1】、参事監【1】、参事監又は参事【2】</u> ※美術館整備監、美術館長、美術館副館長、地域社会振興部 参事監（美術館）が併任 副館長 (1) ※地域社会振興部参事（美術館）を併任	博物館長 (1) ※次長級又は課長級 <u>参事監又は参事【2】</u> ※美術館長、美術館副館長が併任 副館長 (1) ※地域社会振興部参事（美術館）を併任
総務課 課長 (一) ※本務博物館副館長 総務担当 (2) ※内総括補佐1名は美術館総務担当を併任 改修担当 (3) ※内係長1名は総務担当を兼務 会計年度任用職員 一般事務 (3) ※美術館総務担当を併任 警備員 (3) 受付員 (5) 看視員 (25)	総務課 課長 (一) ※本務博物館副館長 総務担当 (2) ※併任解除 改修担当 (3) ※兼務解除 会計年度任用職員 一般事務 (3) ※併任解除 警備員 (3) 受付員 (5) ※5/1～配置 看視員 (25) ※5/1～配置
学芸課 課長 (1) <u>自然担当 (4)</u> ※生活環境部自然共生社会局山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館研究担当の併任 主幹学芸員 主任学芸員又は学芸員 <u>人文担当 (5)</u> 学習支援担当 (1) 会計年度任用職員 事務補助 (1) 標本専門員 (1) 資料管理専門員 (1) 史料補修専門員 (3) 複写補助員 (1) 広報・普及専門員 (1)	学芸課 課長 (1) <u>自然史担当 (4) ※担当名変更</u> ※生活環境部自然共生社会局山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館研究担当の併任 主幹学芸員 主任学芸員又は学芸員 <u>歴史・民俗担当 (5) ※担当名変更</u> 学習支援担当 (1) <u>美術担当 【9】 ※新設（地域社会振興部美術館学芸担当が併任）</u> 会計年度任用職員 事務補助 (1) 標本専門員 (1) 資料管理専門員 (1) 史料補修専門員 (3) 複写補助員 (1) 広報・普及専門員 (1) <u>考古資料専門員 (1) ※新規</u>
<u>美術振興課</u> 課長 【1】 ※美術館参事が併任 調査担当 【3】 ※美術館学芸担当が併任 美術担当 【5】 ※美術館学芸担当が併任	<u>※廃止</u>
正職員 18人 【+併任13人】 会計年度任用職員 44人 計 62人	正職員 18人 【+併任11人】 会計年度任用職員 45人 計 63人

2 学芸課の担当名の変更理由

(1) 自然担当から自然史担当へ

本担当は、化石、岩石、植物、動物、昆虫などの標本を収集・保存し、それらを調査研究することで、鳥取県の大地の成り立ちや絶滅種など生物の変遷を解明して、そのことを展示や講座等を通して教育していくことが業務である。

対象としているのは、現在の自然ではなく、過去から現在に至る自然の歴史であり、そのことを正確に表現する用語は「自然史」である。

(2) 人文担当から歴史・民俗担当へ

「人文」という概念（用語）は、昭和50年代から平成半ばまで「自然」に対して用いられてきたが、近年ではほとんど使用されていない。

担当する領域は、本県の歴史（旧石器、縄文、弥生、古代、中世、近世、近現代）に関する遺物と資（史）料、有形・無形の民俗事象（衣・食・住、農具・漁具・製紙用具、芸能、儀礼・信仰等）であり、担当名を改称することで、同担当の役割を伝えやすくしたい。

<参考>博物館組織の沿革

時 期	内 容
S47. 4. 1	鳥取県立科学博物館を「鳥取県立博物館」と改称、組織も、管理課（庶務係、設備係）、学芸課（学芸係、美術係、史料係）と二課制に拡充。
S47. 10. 1	鳥取県立博物館開館
S58. 4. 1	学芸課の係を再編成し、自然係、美術係、人文係とする。
H14. 4. 1	機構改革により美術振興課設置（文化課美術館整備調査室及び学芸課美術係の組織再編）。
H16. 4. 1	管理課を総務課に改称。
H17. 4. 1	本庁化となる。併せて、学芸課、美術振興課の係を廃し、担当制となる。
H18. 9. 1	学芸課に新しく普及担当を新設。
H27. 7. 1	総務課に「美術館整備推進担当」を設置。
H29. 4. 1	総務課美術館整備推進担当を総務課から切り離し、「美術館整備準備室」を設置。
R 2. 3. 31	美術館整備準備室を廃止
R 2. 4. 1	（倉吉未来中心内に美術館整備局美術館整備課を新設）
R 4. 4. 1	学芸課の普及担当を「学習支援担当」に改称。
R 5. 8. 1	総務課に「改修担当」を設置。
R 6. 4. 1	美術振興課職員が知事部局地域社会振興部に設置された美術館へ本務を移す。

人事異動に伴う事務局職員の変更について

令和7年4月1日

1 博物館

令和7年度			
理事監兼館長			片山 暢博
参事監兼副館長兼総務課長			藤原 浩
総務課	総務担当	課長補佐	山本 哲愼
		課長補佐	桑本 英明
	改修担当	課長補佐	諸遊 祐介
		係長	福井健太郎
		主事	安住 鈴香
学芸課	自然史担当	学芸課長	福代 宏
		主幹学芸員	動物 一澤 圭
		主任学芸員	地学・岩石・化石 田邊 佳紀
		学芸員	昆虫 鶴 智之
		学芸員	地衣類 宮澤 研人
		学芸員	植物 清末 幸久
	歴史・民俗担当	主幹学芸員	歴史 来見田博基
		専門員兼主任学芸員	考古 酒井 雅代
		主任学芸員	歴史 大嶋 陽一
		主任学芸員	歴史 山本隆一朗
	学習支援担当	専門員兼主幹学芸員	樫村 賢二
	(本務美術館)	参事	三浦 努
		専門員	佐藤 真菜
		主任学芸員	藤巻 和恵
		主任学芸員	赤井あずみ
		専門員	外村 文
		専門員	山本 亮
		主任学芸員	友岡 真秀
		学芸員	山田 修平
		学芸員	杉ノ原朋加
会計年度任用職員	一般事務(総務)		山本 暁
	一般事務(総務)		田中佳代子
	一般事務(総務)		石井 桃子
	事務補助(学芸)		木村 康子
	標本整理専門員	植物	清水 道代
	資料管理専門員	I P M	本庄 孝行
	考古資料整理員		八峠 興
	史料補修専門員		齋江 仁美
	史料補修専門員		山田やよい
	史料補修専門員		青目佐保子
	複写機オペレータ		清水 信生
	広報・普及専門員		植村 明美
	警備員		井川 豊治
	警備員		松本 俊彦
	警備員		福岡 正史

1 博物館

令和6年度			
館長			漆原 芳彦
副館長兼総務課長			藤原 浩
総務課	総務担当	課長補佐	山本 哲愼
		課長補佐	桑本 英明
	改修担当	課長補佐	諸遊 祐介
		係長	福井健太郎
		主事	安住 鈴香
学芸課	自然担当	学芸課長	川上 靖
		主幹学芸員	動物 一澤 圭
		主任学芸員	地学・岩石・化石 田邊 佳紀
		学芸員	昆虫 鶴 智之
		学芸員	植物 清末 幸久
	人文担当	主幹学芸員	民俗 福代 宏
		専門員兼主任学芸員	考古 小山 浩和
		主任学芸員	歴史 来見田博基
		主任学芸員	歴史 大嶋 陽一
		学芸員	歴史 山本隆一朗
	学習支援担当	専門員兼主任学芸員	樫村 賢二
美術振興課	(本務美術館)	美術振興課長	三浦 努
		調査担当	専門員 外村 文
		専門員	佐藤 真菜
		学芸員	山田 修平
	美術担当	主任学芸員	藤巻 和恵
		主任学芸員	赤井あずみ
		専門員	山本 亮
		主任学芸員	友岡 真秀
		学芸員	杉ノ原朋加
会計年度任用職員	一般事務(総務)		田中佳代子
	一般事務(総務)		石井 桃子
	一般事務(総務)		池田 貴子
	事務補助(学芸)		柳川 秀剛
	標本整理専門員	植物	清水 道代
	資料管理専門員	I P M	本庄 孝行
	史料補修専門員		齋江 仁美
	史料補修専門員		山田やよい
	史料補修専門員		(欠員)
	複写機オペレータ		清水 信生
	広報・普及専門員		植村 明美
	アーカイヴ資料整理員(本務：美術館)		柿田 春香
	警備員		井川 豊治
	警備員		福岡 正史